

**平成27年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

平成27年4月21日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学と理科の3教科の実施となりました。また、理科は4年に一度の実施であり、本年度実施いたしました。

国語と数学の2教科については主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」を実施しました。

理科は、主として「知識」に関する問題、主として「活用」に関する問題を一体的に問う問題を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であるとともに、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語A	75.8%				○	
国語B	65.8%	○				
数学A	64.4%			○		
数学B	41.6%	○				
理 科	53.0%			○		

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	79.7%	○				
書くこと	73.6%			○		
読むこと	86.1%	○				
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.9%					○

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」の領域では、聞き手を意識して言葉を選ぶ力が身についています。質問の意図をくみ取って聞いたり、必要に応じて質問しながら聞き取ったりする活動を充実させ、自分の考えの根拠を明らかにできるよう支援していきます。
- 「書くこと」の領域では、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるよう、適切な語句を選んで書くことができます。さらに、伝えたい事柄が明確になるよう文章の構成を考えて書く活動を、繰り返し実践していきます。
- 「読むこと」の領域では、情景や言動の意味を考える言語活動や目的に応じて要旨を捉えたり、表現の特徴を捉えたりする言語活動を、継続して実践していきます。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域では、語句・語彙調べなどの取組により、基本的な漢字の読み書きは、ある程度身につけているといえます。さらに、品詞の役割と用法や、手紙等の特別な書き方をする文の構成や配置について、繰り返し指導していきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.2%	○				
書くこと	36.7%	○				
読むこと	62.6%		○			

【考 察】

- 「話すこと・聞くこと」の領域では、明確な意図を持った聞き方や、資料を作成・活用して話すなどの力は身につけているといえます。資料を状況に応じて使い分けたり、提示の仕方を工夫したりする活動を充実させていきます。
- 「書くこと」の領域では、伝えたい事柄の根拠を明確にして文章構成を考え、自分の考えを具体的に記述することが十分身につけていませんでした。書いて表現するための技能をしっかりと身につけさせていきます。
- 「読むこと」の領域では、複数の資料から問いに応じて適切に情報を取り出し、それを根拠に自分の考えを構成したり、必要な情報を比較・検討したりして、自分の考えの形成に役立てるなどの活動を充実させていきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	67.7%				○	
図 形	63.4%	○				
関 数	61.7%					○
資料の活用	63.0%				○	

【考 察】

- 「数と式」の領域では、四則の計算や文字式の計算、方程式について高い正答率でした。しかし、数量の関係を文字式に表すことについては課題があります。文章を読み取り文字を使って表すことを小テストなどに取り入れ、繰り返し学習しながら習熟を図っていきます。
- 「図形」の領域では、証明の必要性和意味は理解しているものの、図形の性質を利用する問題について課題があります。図形の基本的な性質を身につけることができるように復習する時間を確保し、習熟を図っていきます。
- 「関数」の領域では、関数の意味やグラフが表しているものを読み取ることに課題があります。今後は、関数のグラフ、式、表を関連づけて考える力を身につけられるように指導していきます。
- 「資料の活用」の領域では、資料を整理する上で必要な知識を正しく理解できるように、復習に力を入れて指導していきます。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	63.2%	○				
図 形	39.0%	○				
関 数	30.7%	○				
資料の活用	31.2%		○			

【考 察】

- 「数と式」の領域では、数学的な表現を用いて理由を説明することに課題があります。今後、問題を解決する過程を大切に、理由を記述するような学習活動を設定し支援していきます。
- 「図形」の領域では、証明についての正答率が低い結果となりました。証明問題については、根拠を明らかにした上で、見通しを持って順序よく証明ができるように繰り返し指導していきます。
- 「関数」の領域では、与えられた表や式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明することに課題があります。関数の授業では、事象とグラフ、式、表を関連づけて指導していきます。
- 「資料の活用」の領域では、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力が不足しています。資料を読解し、根拠を明確にしながら説明する学習活動を設定し、資料を活用する力を高めるように指導していきます。

【理 科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物理的領域	48.9%		○			
化学的領域	56.2%	○				
生物的領域	62.2%					○
地学的領域	46.4%					○

【考 察】

- 「物理的領域」では、1年時の学習内容である「音」や「光」において、定着が不十分で課題が見られました。学習内容の復習を今後の授業等でしっかりと設定していきます。
- 「化学的領域」では、現象の性質については理解しているものの、現象を数字で捉えることについては定着率が低く、また、実験の条件を比較して考えることに課題が見られました。今後、実験を行う際の条件をよく確認することや出てきた結果を量として捉えることに重点を置き、指導していきます。
- 「生物的領域」では、動物や消化の基本的用語が定着しており、また、実験の結果から分かることを踏まえて、表現することができています。引き続き、基本的用語の定着を図る支援をしていきます。
- 「地学的領域」では、雲のでき方についての理解が十分ではありませんでしたので、「目に見えないような細かいもの」の理解をモデル等を使いながら、繰り返し指導していきます。

平成27年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や携帯電話やスマートフォンなどへのかかわりなど家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思います。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	東中	4.1	30.1	43.8	19.2	2.7	0.0
3	全 国	10.4	25.3	33.3	17.0	8.6	5.3

(単位 %)

【考 察】

- 2時間以上の勉強時間が習慣化している生徒が34.2%でした。1時間以上2時間未満勉強している生徒が43.8%と最も多く、合わせると78.0%になり、ほとんどの生徒は家庭学習を習慣化しているといえます。
- 学校から与えられた課題には概ねよく取り組んでいます、自分の課題を把握し「主体的な学び」ができるとさらに向上できると思います。家庭学習充実のヒントを提示しながら、指導していきます。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかとい えばしている	あまり していない	全く していない
中	東中	16.4	53.4	26.0	4.1
3	全 国	16.5	32.3	36.3	14.4

(単位 %)

【考 察】

- 「している」と答えた生徒は、そのほとんどが進路の目標が明確であり、主体的に学習できる生徒です。
- 「どちらかといえばしている」と答えた生徒は53.4%でした。1年時より継続使用している課題中心型の計画表の活用が定着し、先を見据えた学習ができるようになってい、るといえます。今後も計画に基づいた家庭学習について、学級活動や教育相談の機会を生かしながら指導を継続していきます。
- 「あまりしていない」「全くしていない」と答えた生徒については、計画を立てて勉強をすることの重要性を理解させながら個別の指導をしていきます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	東中	4.1	6.8	21.9	13.7	8.2	45.2
3	全 国	6.3	8.7	15.6	21.6	12.7	35.0

(単位 %)

【考 察】

- 全国と比較すると2時間以上の読書をする生徒は少ない割合でしたが、平日に1日当たり10分以上の読書をしている生徒は、約半数です。図書館を積極的に利用している生徒もいます。
- 約半数の生徒が読書をしておりません。部活動や家庭学習、メディア使用で過ごす割合が高く、本に親しむ時間が確保できていないものと考えられます。今後は、再度朝の10分間読書の取組や図書館だより、図書館の利用を促す工夫に努めていきます。

4 普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

		4時間以上	3時間以上 4時間未満	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	1時間未 満	全くしな い	持って ない
中	東中	5.5	5.5	11.0	20.5	21.9	16.4	19.2
3	全 国	9.9	8.3	13.1	16.3	14.2	16.5	21.4

(単位 %)

【考 察】

- 3時間以上利用している生徒は全国と比較すると少ないので、長時間の利用はよくないと意識した上で利用しているといえます。
- 平日1時間以上メディアに触れている生徒が約半数います。毎週月曜日のメディアコントロールデーの呼びかけに加えて、本や新聞に親しむ啓発活動も継続していきます。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。

5 朝食を毎日食べていますか。

		食べている	どちらかといえ ば食べている	あまり食べて いない	食べていない
中	東中	82.2	11.0	4.1	2.7
3	全 国	83.8	9.7	4.7	1.9

(単位 %)

【考 察】

- 「食べている」「どちらかといえば食べている」生徒は、合わせて93.3%でした。朝から元気に学校生活をスタートしている生徒が多く見られます。
- 朝食摂取の有無は、脳の働きに影響があるといわれています。全ての生徒が一日の学校生活をいい状態でスタートできるよう、個別に働きかけていきます。

6 家の人（兄弟姉妹以外）と学校の出来事について話をしますか

		話している	どちらかといえ ば話している	あまり話して いない	話していない
中	東中	54.8	35.6	9.6	0.0
3	全 国	43.6	30.1	20.0	6.3

(単位 %)

【考 察】

- 「話している」と答えた生徒は半数を超えており、全国平均よりも高くなっています。「どちらかといえば話している」生徒も合わせると約9割の生徒が家の人と話しています。家の人とのコミュニケーションがよくとれているといえます。
- 全く話をしていない生徒はおらず、何かしら学校のことが話題となる話をしています。週1回のメディアコントロールデーなども有効な機会になっているものと考えられます。

7 家で学校の宿題をしていますか。

		している	どちらかといえ ば、している	あまりしてい ない	全くしていな い
中	東中	84.9	15.1	0.0	0.0
3	全 国	65.8	23.5	7.9	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 全員の生徒が学校の宿題に取り組んでおり、「あまりしていない」「していない」と回答した生徒はいませんでした。家庭学習では、「宿題から自主学習、さらに自分のばしの学習」と指導しており、「まず宿題は取り組んであたりまえ」という習慣が確立されていると考えられます。
- 今後は、宿題の中で「分からなかった問題」や「できなかった問題」について「質問する」時間を大切にし、学力向上を図れるよう指導を工夫改善していきます。

8 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。

		その場で尋 ねる	授業が終わ ってから先 生に尋ねる	友達に尋ね る	家の人に尋 ねる	学習塾の先 生に尋ねる	自分で調 べる	そのままに しておく
中	東中	9.6	6.8	57.5	4.1	4.1	11.0	2.7
3	全 国	10.6	10.3	35.9	5.7	15.1	12.3	7.0

(単位 %)

【考 察】

- 「友達に尋ねる」と答えた生徒が57.5%と最も多い結果でした。分からないところは何とかして解決しようとしていることが分かります。
- 授業の中に「質問する」時間を設けたり、教師が休み時間や放課後に生徒と過ごす時間を増やしたりして、分からないことをすぐに解決できるように工夫改善していきます。

9 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		そう思う	どちらかといえば、 そう思う	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない
中 3	東中	78.1	16.4	4.1	1.4
	全 国	47.5	34.6	11.5	6.3

(単位 %)

【考 察】

- 約8割の生徒が「そう思う」と答えており、「どちらかといえば、そう思う」とも合わせるとほとんどの生徒は、楽しく充実した学校生活を送っており、学校生活における期待感も大きいものと考えられます。
- 今後も生徒の安定した学校生活を維持するために、教科指導、道徳教育、特別活動等の充実を図り、楽しい学級・学校づくりを継続していきます。

10 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば、当てはまる	どちらかといえば、 当てはまらない	当てはまらない
中 3	東中	83.6	13.7	1.4	0.0
	全 国	56.0	28.2	9.5	5.1

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの生徒が、学校生活の中で集団で協力したときの一体感や達成感、自己肯定感を得ていると考えられます。このことは、グループや学級の友達と学習活動において協力して問題解決をし、達成感を得る喜びを知っていることにも通じていると考えられ、望ましい学習活動を支える基盤になっていると思われます。
- 今後も、さまざまな教育活動を通して、より多くの成功体験を味わわせるように支援していきます。